

2015年11月18日

紅忠スチール株式会社
野村不動産株式会社
株式会社稲葉製作所

3社共同でマンション用 メーターボックス扉を開発 ～高品質化とコストダウンを実現～

伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社の100%事業会社である紅忠スチール株式会社（本社：東京都中央区/代表取締役社長：藪内 茂行）は、野村不動産株式会社（本社：東京都新宿区/取締役社長：宮嶋 誠一）および株式会社稲葉製作所（本社：東京都大田区/代表取締役社長：稲葉 明）と共同で、鋼製家具の技術を応用したマンション用のメーターボックス扉を開発しましたのでお知らせいたします。

これにより、同扉の品質向上や工事簡素化と工期の短縮、コストダウンが可能となります。



1.開発の背景

マンション住戸のメーターボックス扉は、物件ごと・住戸ごとにデザインや大きさが異なるため、規格化されておらず、施工の際には、溶接や塗装を始めとする6段階の工程を経て設置されていました。このような従来工法では、製造と現場施工に長期間を要すること、また高コストになることが課題となっており、3社による新たなマンション用のメーターボックス扉の開発がスタートする運びとなりました。

2.新開発したマンション用メーターボックス扉について

3社が新たに開発したマンション用のメーターボックス扉は、主に以下の特徴とメリットがあります。

- ・ 物置や、キャビネット等で培われた稲葉製作所の工場自動化ラインを用いて製造するため大量生産が可能です。
- ・ 扉ならびに枠を、施工現場で簡易に組立て取付けられる構造としています。具体的には、従来の枠取付け時の溶接、モルタル詰め、コーキングが不要となり、ビス止め施工となります。また扉は差し込み方式（稲葉製作所所有の特許）であるためワンタッチで扉取付けや交換が可能です。また現場塗装もありません。これにより、施工の工程が従来の6段階から2段階に減ります。
- ・ 工場にて製造することにより、従来のペンキ塗装に比べ、劣化しにくく、繊細な仕上がりとなります。
- ・ 安価かつ簡易に取り外し交換できることから、将来的にはマンション修繕費用の低減につながります。

なお、本商品は「アイコモン」の名称にて商標登録申請中です。

今後、野村不動産は本商品を賃貸マンション「プラウドフラット」（年間約 300 戸）へ順次導入予定です。稲葉製作所は本商品の開発によって、鋼製家具の技術を応用し、建築資材という新たな事業分野に参入します。また、紅忠スチールは、同商品を市場に広く紹介し拡販を図ってまいります。

本件に関するお問い合わせ先

紅忠スチール（株）
管理部 市岡
TEL：03-6225-5400

野村不動産（株）
広報部 半田・阿部・相澤
TEL：03-3348-7805

（株）稲葉製作所
広報・企画室 石関
TEL：03-3759-5201